

企業の環境教育の例（企業内）

（株）NTTデータ

全社員対象の一般環境教育	全社員、全協働者を対象に e-ラーニング形式で実施。資料内容は地球環境問題、日本における環境問題、IT 業界(NTTデータが属する業界)の環境問題、NTTデータでの環境活動の取り組みのセクションに分け、現在の環境状況の説明と今後どうすべきかなど。演習問題も加えている。
環境役職者教育	e-ラーニング形式。ISO14001 の規格の内容、環境に関する法規制推移・今後の展望など。
廃棄物処理担当者教育	e-ラーニング形式。リサイクル法の中身、マニフェスト伝票の管理方法を中心に構成。
その他特定環境教育	システム機器開発、グリーン購買、FM業務

（株）リコー

環境ボランティアリーダー育成プログラム	体験型の研修である「リコー自然教室」を終了した社員は環境ボランティアリーダーとして登録され、リーダーは自発的にボランティア活動を実施。近年は、環境ボランティアリーダーのスキルアップを図るための「リコー自然教室中級編」(リコー環境ファシリテーターを育成)、森林管理が指導できる「リコー森の教室」(リコー森林保全リーダーを育成)を開始。
環境月間記念講演会	2002 年度は、リコーが支援している「アファンの森」の C.W.ニコルさん、ブルネイ マングローブ保全推進者の榎尾さんによる基調講演。
リコーグループ環境大会	世界各極からの環境スタッフが集まる中、環境経営の推進に向けたスピーチや環境経営活動賞の表彰を行う。
専門技術研修	化学品安全と法規制対応、環境関連法規、LCA、製品環境影響評価技術、リサイクル対応設計 など
情報発信	環境情報誌「ECO TODAY」、環境 HP

（株）セイコーエプソン

基礎教育	全ての社員が年一回受講することを義務づけ、地球環境問題や環境問題に対する企業の責務、ISO14001 の概要等の基礎的な知識、当社の環境総合施策の活動内容等を理解することを目的としている。e-ラーニング形式。理解度テストが設けられており、合格点に達して初めて受講完了となる。
新任管理職研修	新任部長研修では、世の中の環境問題に関する動向と当社の状況をふまえて、環境経営を進める上で特に認識しておきたい点についての講話。新任課長研修では、管理職として自職場の環境活動の方向付けをし、目標達成に向けて行動できることをポイントとして実施。
海外赴任者研修	赴任国の環境法規制を含む環境動向や赴任先の会社における環境活動の状況などについて情報を事前に提供し、赴任先で環境経営・環境活動を積極的に推進できるようにしている。
内部環境監査人教育	環境対策に必要な専門的な知識や技能を身につける。登録された監査人が交代で、環境活動の社内推進組織を対象に年 1～2 回実施される内部環境監査にあたっている。
環境表彰制度	事業部や国内外のグループ関係会社等の活動推進組織毎に総合評価する「環境経営賞」、環境パフォーマンスの向上に貢献した個別の技術開発・製品・システム、または環境意識の高揚に効果をもたらした啓発、教育、社会貢献活動などの中から優れた活動を表彰する「環境賞」がある。
社員向け啓蒙活動	各種講演会の実施、環境月間の取り組み、社内イントラネットによる環境活動情報の提供、社内報への環境関連記事の掲載、環境啓発ポスターの掲示 など。

(株)NEC

一般環境教育	新任主任・基幹職に対する環境教育をe-ラーニングによって実施。教育内容は環境問題一般の知識、環境問題に関わる国内外の動向、NECの環境への対応、業務遂行責任者として期待される今後の活動内容。
環境技術研修 - LCA実務研修	実際に製品を使って具体的な環境拝領設計の基本的な考え方の理解、製品の部品情報や生産プロセス情報を使ってLCAの分析方法を実習。
経営トップ層への定期的な情報提供	最新の環境動向や他社の活動内容、及び直近のNECの活動実績を経営的観点でコンパクトに整理して、経営トップ層を対象にしたメールマガジン「環境Navi」として2週間に1回の頻度で発行。
特別講演	年2回、全社員を対象にした社外招待講師による特別講演会を実施。実施後は講演録を作成し希望者に配布し、市内環境ホームページにも掲載。
社員家族まで含めた環境情報提供	一消費者として環境負荷のすくないライフスタイルや環境関連の各種イベントに関する情報提供の場をWebサイトで開設。

損保ジャパン

環境リテラシー制度	全社員対象の環境教育体系。2002年度は、自主製作した「紙資源の削減」に関するビデオ(約20分)に基づいた研修を、職場ごとに行った。
新人研修	損保ジャパンの環境・社会貢献活動に関する研修。
環境監査	内部監査員研修修了者による年一回の内部監査。また全国の地区本部ビルでは、社会・環境室職員による内部監査を実施。
全社情報ネットワークによる情報提供	社内の取り組み、環境関連ニュース、ボランティア情報などを掲載。
「エコドライブ」ステッカー	営業用社有車約4,700台のダッシュボードに「エコドライブ5か条」を掲載したステッカーを貼付。
社内通信講座	希望者を対象に環境問題総合講座を全社情報ネットワークで受講できるようにしている。2002年度は、昇進要件にもなる能力開発ポイント制度を導入。
社内報「エコ&ボランティア」	年6回発行している社内方に、全国の各地区本部が実施している環境・社会貢献活動を紹介するコーナーを設けている。

(株)東京ガス

階層別研修	新入社員研修、中堅社員研修
環境シンポジウム	講演会
親子環境講座	企業間を会場に体験型のプログラムを用意
環境担当者研修	先進他企業や産業廃棄物処理施設等の見学会を6回実施
環境情報の発信	イントラネット、社内報
環境表彰	関係会社・協力企業を含む当社グループおよび取引先の会社・部署・個人について、ガス事業に伴う環境改善、エコオフィス活動、環境技術・研究開発、環境社会貢献活動の分野米に表彰する。
エコ・クッキングインストラクター講座	広報担当者や料理教室担当を中心に、エコ・クッキング講座で指導にあたる人材を養成。

(株)鹿島

一般教育	新入社員教育、転入者教育、部署内定期教育とがあり、環境問題、環境方針、マネジメントシステムの狙い など。
専門教育	定期教育、建設公害防止管理者講習、内部監査員養成・スキルアップ研修があり、設計、施工の各分野に個別の環境配慮事項、対応手法など。
説明会	各視点の環境担当者対象。省エネ対策、土壌汚染対策、ディーゼル車対策等について随時実施。
情報提供・情報交換	冊子の配布やイントラネットを利用。建設副産物処理Q & A集などを掲載。
社内CATV	新技術や会社としての新しい取り組み、現場での取り組みなどについての環境専門番組を、工場現場も含めた全社に定期的に放映。
環境表彰の実施	工場現場での環境保全活動の一層の推進、ボランティア活動などでの環境保全活動の推進を目的に年一度工事、グループを表彰。

(株)佐川急便

全国ドライブ-コンテスト	年一回行っており、エコドライブも内容に入れている。
佐川急便環境行動	全国的にアイドリングストップが徹底されているかを現場にて実施状況検証および指導を毎月一日に行う。
グリーンアップデー	営業店周辺や地域の清掃をボランティア活動として行う。
広報	月間の社内報や週毎の広報ビデオに環境コーナーを設ける。

(株)吉野家ディー・アンド・シー

ランクアップシステム	店舗従業員に対して契約評価シートを採用、期間ごとに店長が各従業員をチェックし昇級を決める。(節水、井の破損の減少、ゴミの分別、油成分処理など)
情報提供、広報	社内誌などで店舗での環境活動が企業又は社会全体にどう役立っているのかを紹介、ポスターの掲示